

令和3年度 1年学年集会（コース選択説明会）

コース選択の説明 教務部長 内田康雄

文理選択は人生の大きな分岐点である。見通しを持ち、後悔のない選択をしてほしい。文系・理系では特に地歴公民と理科で学習する時間に大きな違いがある。今後は教育相談、保護者懇談を通して決定していくことになる。



理科の選択科目について 理科主任 松原博文

受験で使用する科目を早めに設定し、受験科目としての学習をいつ始めるかが鍵を握る。進路を見据え、何か質問があれば聞いてほしい。



社会の選択科目について 地歴公民科主任 杉山登志郎

B科目とA科目の違いを早めに理解することが大切である。仕組みがやや複雑であるため、不明な点はすぐに質問してほしい。また2年生で受講した科目は、3年生になってからも継続であるため、じっくり考える。



進路について 進路支援部長 土肥義史

一度自分の夢を考えてみると良い。もし見当たらない場合は、やりたいことにアンテナを張ってみる。コース選択については、最終決定は自分で行うため、模擬試験の結果を見る、雑誌を活用する、インターネットで情報収集するなど様々な面から調べる大切である。



学年主任より 1年学年主任 田口貢大

文理選択は大きな決断であり、不安に思うこともあるだろう。家庭でしっかり話し合い、不明な点は聞いてほしい。

